

## 第70回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第70回日本体力医学会は現在のところ以下のように準備を進めております。発表の登録および学会誌「体力科学6号」一般発表抄録の原稿提出はすべて**大会ホームページ**上で行います。本大会の一般発表への応募は学会員に限りませんが、共同研究者は学会員でなくともかまいません。

### 記

1. 会 期：平成27年9月18日(金)～9月20日(日)
2. 会 場：和歌山県民文化会館・ホテルアバローム紀の国（和歌山市）
3. 大 会 長：田島 文博（和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座）
4. 大会事務局：文部科学省認定障がい者スポーツ医科学研究拠点  
和歌山県立医科大学みらい医療推進センターげんき開発研究所内  
第70回日本体力医学会大会事務局  
事務局長：三井 利仁  
〒640-8033 和歌山市本町2-1 フォルテワジマ 5階  
TEL：073-488-1933 FAX：073-488-1935  
E-mail：p fsm70@wakayama-med.ac.jp

運営事務局：株式会社セレスポ事業開発部  
担当：小山 哲矢  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5  
TEL：03-5974-7055 FAX：03-5394-7653  
E-mail：tairyoku70@cerespo.co.jp

5. 大会プログラム（予定）
  - (1) 大会長講演
  - (2) 特別講演
  - (3) 教育講演
  - (4) シンポジウム
  - (5) 国際セッション
  - (6) ワークショップ
  - (7) 一般研究発表（口頭発表・ポスター発表）
  - (8) 学会賞受賞講演
  - (9) ランチョンセミナー
  - (10) 県民公開講座
  - (11) 持久走大会
  - (12) その他（立食懇親会・9月21日懇親ゴルフコンペ等）

※プログラムの内容は決定次第、本大会ホームページ上で随時更新いたします。

第70回学会大会ホームページ：<http://www.wakayama-tairyoku70.com>

# 参加登録方法

## 1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録の方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ホームページ上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、事前登録され、大会参加費を納入された方には大会開催前に予稿集、大会参加証をお送りいたします。

## 2. 大会参加費

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員		一般	12,000円	学生	7,000円

※非会員の参加登録は当日登録のみとさせていただきます。

## 3. 事前登録

### (1) 事前登録期間

平成27年4月1日(水)～7月31日(金) 正午まで

### (2) 事前登録の方法

事前登録はホームページ上で受け付けます。大会ホームページの参加登録のバナーから、案内に従い登録を行って下さい。

第70回学会大会ホームページ：<http://www.wakayama-tairyoku70.com>

※オンライン登録以外の登録はありませんので、ご注意下さい。

### (3) 大会参加費の支払い方法

大会参加費は、オンラインでの参加登録システムにおいて、①クレジットカード、②銀行振り込み、のいずれかの方法でお支払い下さい。

## 4. 当日登録

事前登録をされていない会員、非学会員の方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、会場内に当日登録所を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

## 国際セッションの演題募集のお知らせ

日本体力医学会では、ヨーロッパスポーツ科学学会（European College of Sport Science, ECSS）をはじめとする海外の学会との相互交流を促進し、学会員の学術レベルを高めることを目的として、若手研究者を中心とした交流事業を平成11年度より実施しております。

今大会でも日本と海外の研究者の参加による「国際セッション」を開催いたします。発表形式は約15分～20分（質疑応答を含む）の口演の予定で、使用言語は英語です。発表を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

### 【応募資格】

45歳以下の日本体力医学会会員

### 【応募方法】

#### 1. 抄録作成要項

抄録は英文3,000文字以内（タイトルと演者、共同演者名、所属機関名は含めませんが、スペースは含みます）とし、Microsoft Wordで作成して下さい。図表は使用せず、参考文献は抄録の最後に記載して下さい。

#### 2. 送付方法

作成したファイルは電子メールに添付し、masashi@u-gakugei.ac.jp宛に送付して下さい。電子メールの本文中には氏名、所属機関名、連絡先住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを記載して下さい。

#### 3. 締め切り

平成27年5月29日(金) 正午まで

### 【連絡先】

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学教育学部芸術・スポーツ科学系健康・スポーツ科学講座

日本体力医学会国際セッション係

担当：宮下 政司

E-mail：masashi@u-gakugei.ac.jp

TEL/FAX：042-329-7622

### 【選考方法】

日本体力医学会渉外委員会で審査し、応募演題の中から原則として3演題を選出いたします。

### 【結果通知】

選考結果は直接本人に通知いたします。

## 演題応募方法

### 【登録資格】

演題登録ができるのは、会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります（会員番号は会員名簿に記載）。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。非会員の方は、日本体力医学会ホームページからオンラインで、入会手続きを行って下さい。（自動返信メールで会員番号が通知されます）FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

#### ●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階 学会支援機構内

Tel：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail：jspfsm@asas.or.jp

### 【登録方法】

演題登録開始：平成27年4月1日(水) 正午から

締切：平成27年5月20日(水) 正午まで

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。発表予定者の方々は発表形式の選択を行って下さい。ただし、口頭発表には限りがありますので、希望に添えない場合があります。発表形式の決定は実行委員会に一任させていただきますことをご了承下さい。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

演題登録は大会ホームページ上で演題応募のタブをクリックし、案内に従って進めて下さい。最初に演題登録した際に自動的に演題登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号とパスワードは、登録の変更と、後日の「体力科学6号」掲載用抄録の登録に必要になりますので忘れることのないようご注意下さい。

大会ホームページURL：<http://www.wakayama-tairyoku70.com>

<本大会で一般研究発表された演題の抄録は学会誌「体力科学6号」に掲載します>

「体力科学6号」の掲載用抄録の登録期間

開始 平成27年7月上旬（採択通知到着後から）

締切 平成27年9月30日(水) 正午まで

締切を過ぎると「体力科学6号」への抄録の掲載ができません。

### 【その他】

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) 登録番号、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティーの関係上応じられません。登録番号とパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、ホームページ上に随時掲載いたします。

## 平成26年に査読をお願いした先生方は次の方々です

相澤勝治	鎌田真光	征矢英昭	福島 齐
秋本崇之	上林清孝	高橋英幸	藤井範久
浅井英典	川中健太郎	田中茂穂	藤野英己
綾部誠也	菊永茂司	田辺 解	舟崎裕記
飯田祥明	北湯口 純	谷本道哉	船瀬広三
家光素行	金 憲 経	田畑 泉	前田清司
石井好二郎	木村みさか	田卷弘之	緑川泰史
石原健吾	久代恵介	千野謙太郎	宮崎照雄
石山育朗	久保啓太郎	土江寛裕	宮下浩二
井田博史	栗原俊之	土居裕和	村山光義
市川真澄	神野宏司	仲 立 貴	安永明智
入江一憲	後藤一成	中垣内真樹	山田 茂
薄井澄誉子	小柳好生	中嶋耕平	山田 実
漆畑俊哉	斉藤 満	中島 剛	山津幸司
種田行男	阪口正律	中田由夫	柚木孝敬
大河原一憲	櫻井拓也	永野康治	横井孝志
大久保 衛	笹井浩行	中村好男	横山友里
大島秀武	佐々木一茂	難波秀行	吉岡伸輔
大槻伸吾	佐藤真治	西村一樹	若林秀隆
大槻 毅	澤田 亨	西脇雅人	涌井佐和子
小野 玲	重松良祐	原 英喜	渡邊航平
麻見直美	柴田 愛	原田和弘	渡邊信晃
片山敬章	新宅幸憲	平野和宏	渡邊 賢
片寄正樹	進矢正宏	平野裕一	渡邊裕也
加藤晴康	曾根涼子	深代千之	

## 平成27年度日本体力医学会プロジェクト研究公募について

日本体力医学会プロジェクト研究（以下、プロジェクト研究）は、平成9（1997）年度に発足しました。日本学術会議体力科学研究連絡委員会から「日本人のための健康体力指標の標準化、及び健康増進・疾病予防のための身体活動に関する推奨・指針作成への提言」が出されたことを受けて、平成16年度からこの提言に関わるプロジェクト研究を公募して参りました。平成27年度の公募研究テーマが下記のごとくに決定しましたので、奮って応募いただくようご案内致します。

### プロジェクト研究の全体像

- プロジェクト研究は、日本人の健康維持・増進に関連した体力および身体活動・運動を主題とした研究であり、その成果として、社会に向けて勧告、指針などの提言がまとめられるものでなければならない。
- 平成27年度は下記のいずれかの研究テーマに関わる研究課題に限定する。
  - 健全な発育・発達に資する研究
  - 中高齢者の健康長寿に資する研究
  - アスリートの障害予防または競技力向上に資する研究
  - そのほか（特別な学術的貢献が期待できる課題）
- 多施設が共同研究を行うことにより、より優れた成果が出るような研究プロジェクトであること。その際に各研究者の役割を明確にすること。
- プロジェクト研究の選考は学術委員会の下部組織であるプロジェクト研究委員会が行う。
- プロジェクト研究の申請は、研究代表者（評議員）と数名の発起人が、研究計画書を共同で作成し、プロジェクト研究委員会に提出する。
- プロジェクト研究委員会では提出された研究計画書を審査し、採択候補研究を選定する。なお、新規採用可能件数は原則1件である。
- プロジェクト研究委員会は研究計画に基づき研究費を配分する。研究費は主に調査や資料の収集などに当てるものとする。年間およそ100万円程度

を限度として配分する。プロジェクト研究の研究成果は3年以内でまとめ、(1)プロジェクト研究委員会の審査を経て、理事会の承認を得ることとし、(2)「体力科学」および日本体力医学会大会において公表する。（注：学会の公式見解とするかどうかは、理事会で審議する）

プロジェクト研究に応募される方は、研究代表者（評議員に限る）と数名の発起人が、以下の項目に沿って研究計画書をA4版にワードプロセッサで書き、平成27年4月30日までに下記の提出先にお送りください（電子メールによる提出が望ましい）。研究計画の採否は追って、研究代表者に通知します。

### 研究計画書

- 研究代表者名（署名捺印してください）、所属部署・所属大学など、住所、最終学歴（卒業大学または修了大学院）と年月日、学位の有無、連絡先の住所、電話、ファックス、電子メールアドレス
- 研究発起人名、所属部署・大学、最終学歴（卒業大学または修了大学院）と年月日
- 研究課題
- 研究目的（200字以内）
- 研究期間（3年以内）
- 研究計画（200字以内）
- 研究方法（400字以内）
- 期待される研究成果（200字以内）
- 研究費の使途（会合費、通信費、印刷代などの費目）に分けて概算を記載してください
- この研究に関するこれまでの成果（原著、著書などの研究業績）を番号をふって書いてください

### 提出先 田中喜代次

日本体力医学会プロジェクト研究委員会委員長  
〒305-8574 つくば市天王台1-1-1  
筑波大学体育系  
電話：029-853-2655 Fax：029-853-2986  
E-mail：tanaka@taiiku.tsukuba.ac.jp



## 第26回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

本研修会は、基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、筋力トレーニングおよびテーピングなど実習を主体とした研修会です。メタボリックシンドローム危険因子保持者などを対象とした運動指導等であり、アスリート対象ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会の会員でない方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

多数の方のご参加をお待ちしております。尚、実習を行う関係上、各年度の募集人数に制限がありますことをご了解ください。

平成26年12月1日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

山内秀樹 碓井外幸 鈴木政登 太田真 勝村俊仁 中島幸則 木村雅子

### 1. 会場

会場は東京慈恵会医科大学西新橋校各会議室・大学1号館6F機能系実習室などです。

### 2. 日時および研修カリキュラム

#### (I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や生化学、栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。ここで学んだことを基盤として、(II) 応用コースへと進みます。

平成27年7月3日(金)

9:00~10:30	運動と神経・筋
10:40~12:10	運動と呼吸
12:10~13:10	昼休み
13:10~14:40	運動と代謝
14:50~16:20	運動と栄養
16:30~18:00	運動と循環
18:00~	懇親会（会費3000円、参加自由）

平成27年7月4日(土)

9:00~10:30	運動処方の基礎
10:40~12:10	生活習慣病の運動処方
12:10~13:10	昼休み
13:10~14:40	高血圧および心血管疾患の運動
14:50~16:20	運動器疾患の運動処方

#### (II) 応用コース

応用コースでは、有疾患者または薬物治療中の場合の運動適用の可否や運動指導の実際について学びます。実習では、自転車エルゴメータによる運動負荷試験を行い、それと関連した血液・尿検査結果データを参考に運動処方を作成する。さらに、高齢者や喫煙習慣保持者の健康を脅かす慢性閉塞性呼吸器疾患を反映する呼吸機能検査、糖尿病性腎症等の腎機能異常の有無を知る尿検査、およびメタボリックシンドローム罹患の上流因子として重要な内臓脂肪蓄積状態を知る体脂肪測定法などを実習します。その他に、テーピングや筋力トレーニング実習なども行われます。

平成27年8月7日(金)

9:00~12:10	運動処方実習（自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験、心電図記録、呼吸機能検査、尿検査、体組成測定実習）
12:10~13:10	昼休み
13:10~17:00	救急救命実習（人体模型を用いた実習）

平成27年8月8日(土)

- 9:00~12:10 運動処方を作成(前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し、実施させる)
- 12:10~13:10 昼休み
- 13:10~17:00 スポーツ障害に対するテーピングおよび筋力トレーニング実習

平成27年8月9日(日)

- 10:00~12:00 修了試験

注意:講師の都合で講義時間割りが前後することがありますので、ご了承下さい。

### 3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

修了試験は平成27年8月9日(日)10:00~12:00に東京慈恵会医科大学で行います。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集(最近8カ年400題)正解/解説付」(税込:2,000円)がありますので、ご利用下さい。

下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

### 4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。

### 5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし、学生証の呈示が必要です。

### 6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し、「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

### 7. その他

健康運動指導士、同実践指導者の登録更新に必要な履修単位90分1単位(講義題目8科目認定)およびTHPではそれぞれ基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。

### 8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込みください。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承ください。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

### 9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13小石川アーバン4F  
 一般社団法人 学会支援機構内  
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係  
 電話:03-5981-6015 FAX:03-5981-6012  
 E-mail:jspfsm@asas.or.jp



## 第26回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申します。(該当する□にレ印をつけてください。)

第26回 基礎コース

第26回 応用コース

試験

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_ E-Mail : \_\_\_\_\_

## 第163回日本体力医学会関東地方会のご案内

### テーマ：

「生活習慣病予防・治療対策の新規アプローチ」(仮)

開催日：平成27年2月28日(土) 13:00より(予定)

会場：慶應義塾大学 芝共立キャンパス  
1号館地下1階 マルチメディア講堂

(東京都港区芝公園1-5-30)

最寄駅：都営三田線御成門駅から徒歩2分，都  
営浅草線・大江戸線大門駅から徒歩6分，JR  
山手線・京浜東北線浜松町駅から徒歩10分

(<http://www.keio.ac.jp/ja/access/shiba.html>)

当番幹事：齋藤英胤(慶應義塾大学薬学部薬物治療学講座)

E-mail : saito-hd@pha.keio.ac.jp

### プログラム(予定)：

#### 特別講演

「生活習慣病を胆汁酸代謝により改善する」(仮)

慶應義塾大学政策・メディア研究科・環境情報学部  
渡辺光博 先生

#### 招請講演

「安定同位体呼吸試験による生体エネルギー代謝評価  
法の開発」(仮)

東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座 松浦知和 先生

#### トピックス講演1

「非肥満者の代謝障害発生メカニズム～細胞内肥満か  
ら考える新規アプローチ～」(仮)

順天堂大学大学院代謝内分泌内科学・スポーツロジ  
センター 田村好史 先生

#### トピックス講演2

「骨格筋ミトコンドリア活性化によるサルコペニア治  
療と生活習慣病対策」(仮)

慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科 宮下和季 先生

#### 一般演題

・発表時間は1演題につき10分(発表8分，質疑応答  
2分)を予定(演題数によって調整させていただきます)

・発表形式は全演題とも口演による発表を予定

#### 情報交換会

プログラム終了後，1号館2階学生食堂にて開催予定

#### 一般演題の申込み手続き方法：

演題名，発表者および共同研究者とその所属，口演要  
旨(400字程度)，連絡先(氏名，郵便番号，住所，電  
話およびFAX番号，E-mailアドレス)をE-mailにて  
下記までお送り下さい。

演題申込み締切：平成27年1月31日(土)

演題申込み先・問い合わせ先(事務局)：

木村真規(慶應義塾大学薬学部薬物治療学講座)

Tel & Fax : 03-5400-2692

E-mail : kimura-ms@pha.keio.ac.jp

## 編 集 後 記

正月のテレビで長嶋茂雄さんの特集番組を見た。彼が2004年に脳梗塞で倒れ、その後、右半身の麻痺や発話障害が残ったことはよく知られている。私は2008年当時、彼が病に倒れてから初めてTV番組でリハビリに取り組む姿を披露したといわれたNHKの特集番組（闘うリハビリ）も見ている。当時リハビリセンターに勤務していた私は、かつての国民的スーパースターが不自由となった身体を視聴者に曝し、同じ病に苦しむ200万人の人たちに向けて、と称したメッセージを發した姿に多大な感動を覚えたことを記憶している。同時に、重度の麻痺が残りながらも自立歩行を再獲得した彼が、「次は走りたい」と人一倍の意欲を語り、そして懸命にリハビリに取り組む姿を見るに、当時常識とされていた限界をあてがうことができない人間の未知の能力の可能性を感じたのであった。そして今回の番組。そこでは今もお日々懸命のリハビリに励む長嶋氏の姿。毎朝、公園をトレーナーとともにウォーキングトレーニング、リハビリ室での定期的なトレッドミルトレーニングと筋力トレーニング。これらはプロ野球選手時代のトレーニングと彼にとっては同等であろう。喪失した機能を取り戻すためのリハビリではない。己の身体の今の限界を超えることを目指したトレーニングなのである。

2004年当時、長嶋氏は68歳。今から約10年前。現在78歳である。彼はこの老齡期の10年間、トレーニングを続けてきたのである。今年の番組でも、彼は走る姿を見せることはできなかった。しかし自立歩行は完全に取り戻している。杖使用の必要もない。言語はやや回復か。重い脳卒中を患ってから10年という時間。彼にとって70歳台は脳卒中後遺症との戦いの年月であった。障害を負ってからの加齡の影響は大きい。おそらく、普通の人なら身体機能は大きく衰えたであろう。私は2004年の番組を再度見た。ほとんど今と変わっていない。その当時動かなかった右手は依然として今も動かない。しかし10年間の加齡の影響がほとんどわからない。現在の姿は、見た目には運動機能を完全維持しているか、やや改善したような印象すらある。何もしなければ、寝たきりか、車いす生活でも不思議はない。障害を負ってからの加齡はそれほど重い。機能が衰えずに維持されていること自体、驚異的である。長嶋さんは今なお意欲的で、走る目標を変えていない。研究上の更なる興味と勇気を掻き立てられた番組であった。

中澤公孝

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.64, No.1

#### 体 力 科 学 第 64 卷 第 1 号

平成 27 年 1 月 25 日 印 刷

平成 27 年 2 月 1 日 発 行

編集兼発行者 鈴木政登  
 発行所 一般社団法人日本体力医学会  
 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階  
 学会支援機構内  
 TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012  
 E-mail: jspfsm@asas.or.jp  
 編集事務局 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
 鶴岡印刷株式会社内  
 TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120  
 E-mail: hj-tairyoku@turui.co.jp  
 印刷所 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
 鶴岡印刷株式会社